



友達の発言を聞いて 心が変わる、成長する

文 | toshi
イラスト | 秋野 純子



○道徳授業での「コト」

もう二十年以上も前になります。校長時代、六年生の卒業が近づくと、記念の道徳授業を行ってきました。

ある年、原爆の被害を受けた子どものお話を取り上げました。そのお話は以下のようなものでした。

被爆した人たちが、水を求めて街はずれへと逃げて行きます。その中で焼けただれて目も見えなくなった幼子が「お母さん。お母さん」と泣きながら逃げていました。そのそばには、おさげ髪の女学生がやはり一人で逃げていました。

「お母さん」と呼ぶ声を聞いた女学生は、「お母さんだよ。お母さんはここにいるよ」と叫んでその子を抱きかかえ

ました。女学生は抱きながら子守唄を歌ってあげました。幼子は安心したようでした。

お話には、「女学生の心はお母さんの心になりました」と書かれています。授業の様子はいきいきとしていました。子どもたちの発言も活発でした。しかし、内容が内容だけに、授業は熱を帯びながらも、静かな雰囲気が進んでいきました。

子どもたちの発言は、担任が記録してくれました。初めのうちは、女学生のやさしさにふれた発言が多くありました。

「きっと女学生は、逃げながら大勢の人が亡くなっていくのを見たでしょう。自分も坊やも助からないのだとしたら、この坊やのお母さんになってやりたい。そうしたらこの子は安心して天国へ行けると思ったのではないのでしょうか」

「この女学生はすごくやさしい」

「子守歌も歌ってあげているよね」

「坊やは女学生にお母さんだよと言われてうれしかったと思う。きっと、ほっとしたのではないか。安心して女学生に抱かれているから」

子どもと動き回れる。子どもと感覚がびったり合う。

それは子どもたちにとって最大の魅力。

「さあ！その若さという武器を最大限発揮しよう」

toshi 先生から新米先生へのエールです。

< toshi 先生プロフィール >

子どもたちと存分に遊んだ新任時代。日々子どもたちの思考の筋道を大切に、授業で子どもをどう生かすかを考える一方で、学級経営や児童理解のあり方に頭を悩ませた修行時代。子ども第一の学校経営を考えてきた校長時代。35年の教員生活を経て、現在は小学校の初任者指導にあたっている。「ある退職校長の想い」「小学校初任者のブログ」を執筆中。

○発言が深まり始める

ここでわたしが思ってもいなかった発言がありました。

「女学生も一人ぼっちだったから、坊やお母さんになれたのは、うれしかったのではないか。だから、女学生も天国に行けると思う」

坊やだけでなく女学生にとってもうれしくありがたいのではないかといった読みは、奥の深さを感じました。

これにつけたした次のような意見もありました。

「私もその意見に賛成です。初め女学生は、この子がかわいそうだ。お母さんはどうなったかわからない。それならわたしがお母さんになってあげようという気持ちだったけれど、女学生の心はお母さんの心になりましたって書いてあるから、お母さんになり切ったという感じがします。女学生も一人で逃げてきたのだから、坊やを家族と思えるようになったのはうれしかったのではないのでしょうか」

この授業におけるキーワードは『お母さんの心』だったと思います。『やさしさ』を象徴する言葉として、子どもたちからも何回も発言がありました。

授業の終わりが近づくにつれ、子ども

たちはさらに別の深い意味も考えるようになりました。

「校長先生が、横浜大空襲の講話で、戦争はにくしみの心から生まれると話してくれたでしょう。それなら、『お母さんの心』は平和につながるのだなと思いました」

○みんなの意見を聞いて変容する

授業が終わってから、一人の子がわたしのところへやってきました。

「今日の授業、とても心に残りました。ありがとうございます。中学生になっても、お母さんの心を忘れないようにしたいです。」

わたし、今日の授業で発言したいなと思ったことがあったのです。でも、みんなの言うことを聞いて、それは違うなと思ったので、言わなかったです。「そう。言いたかったことを教えてくれる」

「わたし、坊やは目が見えなくなっってしまったけれど、ほんとうのお母さんでないことは声を聞いて分かったのではないかと思ったのです。でも、もう一度読んだら、声が出ないくらい弱ってしまっただけで、女学生に抱かれて安心したようだし、それは違うなと思いました。それにみんなの言っているこ

とがすごかったから、そんなことどうでもいいような気持ちになって、後は、お母さんの心、お母さんの心って思っていました」

「そうか。うれしい。よく言ってくれたね。でもちょっと残念な気もするよ。今わたしに言ったように、そのまま発言してくれればよかったな」

子どもはそうかとばかり、ニコッと笑みをもらしてくれました。

そう。授業中の変容、しかも友達の話聞いての変容です。

心が柔軟になっていく。深まっていく。鍛えられていく。

どれも大事ですね。

